

# 家庭情報処理学習指導案

平成24年12月5日(水) 第3時限  
 ライフデザイン科 2年5組 19名  
 (調理選択者)

指導者 嵯峨 摩理子  
 伊藤 慶宗

1 単 元 名 情報の収集・処理・発信 家庭情報処理 (実教出版)

2 単元の目標 通信ネットワークを利用した情報収集の方法と、適切な処理方法を身につける。また、文書作成やプレゼンテーションソフト、ホームページ作成ソフトを利用した情報の処理、発信について理解し、食生活や衣生活、住生活等の家庭科に関するさまざまな分野で活用できる技術を身につける。

3 単元設定の理由 当該クラスの生徒(調理選択者19名)は、卒業までに食物調理技術検定1級取得を目標に調理技術や知識の習得に励んでいる。日頃授業の中で活用するレシピや料理紹介パンフレットを対象者を設定し自ら作成することで、調理作業の確認、的確な言語表現技術や情報発信技術を身につけさせたい。また、パソコンソフトを活用した基本的な情報処理方法を学ぶことで、次年度の課題研究等の学習や卒業後の進路に役立たせたい。

## 4 単元設定の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
A1 コンピュータや情報通信ネットワークを活用し、どのような表現方法が適切かを考えている。	B1 情報を伝達する相手に応じて、言語表現や写真・イラストなどを工夫することができる。 B2 作成したレシピを適切に自己評価・相互評価できる。	C1 レシピに必要な情報を的確に言葉で表現できる。 C2 伝達する情報量を考え、効果的な配色やフォントの表現を工夫することができる。	D1 パソコンソフトの機能を理解している。

## 5 単元の授業計画及び評価計画

	主な指導内容	主な学習計画	評価規準との関連	評価
第1～3時	○情報の収集・処理・発信	○検定に向けて調理した弁当の主菜を自分の言葉でレシピにする。 ○さまざまなレシピを参考に、対象者にわかりやすい言語表現や画像処理について知り、オリジナルレシピを作成する。 ○作成したレシピを評価する。	C1 A1・B1 C2・D1 B2	○必要な情報を選択し、表現できている。 ○パソコンソフトの機能を理解している。 ○対象者を考慮した表現方法ができている。 ○適切な評価ができている。

6 本時の題目 オリジナルレシピを作ろう (第2時)

- 7 本時の目標
- ・対象者 (中学生) を考慮し、言語表現を工夫する。
  - ・パソコンソフトの機能を知り、効果的な表現ができる。

8 授業展開

区分	学習内容	学習活動	指導上の留意点	資料	評価等
導入 5分	前時の確認  本時の学習内容の確認	○前時の確認をする。  ○本時の学習課題を確認する。	○発問を促し、自ら確認できるように配慮する。  ○レシピ作成の基礎と重要点を学習することを伝える。		
展開 40分	レシピ作成のポイント	○適切な表現方法を知り、ワークシートに重要語句を記入する。  ○効果的な文字の配色についてや写真の貼り付け方について知る。	○対象者の年齢や経験をふまえた言語表現の工夫を例題を参考に考えさせる。  ○基本的な画像の挿入方法と配置、文字の配色についての効果的な表現方法を例を示し説明することで理解させる。  ○わかりやすい言語表現や、画像の重要性 (視覚的効果) を理解させる。	・パソコン (パワーポイント) ・ワークシート  ・パソコン ・ワークシート	○適切な表現方法について考えている。 (発問) 【関心・意欲・態度】 ○パソコンソフトの機能を理解している。(作品) 【知識・理解】
	レシピ作成	○前時に作成したレシピをもとに、わかりやすいレシピ作成を行う。	○机間指導により、生徒の活動状況を把握するとともに、よい工夫が見られたら紹介するなどし、作成意欲が向上するよう助言する。	・パソコン ・前時作成したレシピ	○対象者を考慮した表現方法について考え、実行できている。(観察・作品) 【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 ○言語表現、画像挿入を効果的に行うことができる。 (作品) 【技能・表現】
	自己評価	○作成したレシピを自己評価する。	○工夫点やパソコンソフトの機能の理解・活用度など評価させる。	・自己評価表	○自己評価が適切である。(観察) 【思考・判断】
まとめ 5分	本時のまとめ  次時の学習内容の確認	○本時行ったことを振り返り、感想を書く。  ○次時の学習内容を確認する。	○レシピ作成の重要点について振り返ることができるよう、ポイントを繰り返し伝える。	・自己評価表	自己評価表に感想を記入している。 (観察)